

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	NO2	行事などで地域の方々を招待する時にグループホームの趣旨や認知症への理解など伝える様な工夫が足りない。	<ul style="list-style-type: none"> 開かれたホームを目指す 地域にホームを知ってもらう 入居者が地域に出ていく 	地域のお祭りやサロンなどへ出かける。回覧板でホームのお便りを廻してもらう。民生委員さんにも協力して頂き、ボランティアさんの来所の時地域の方々にも声掛けを行い、お茶会をして入居者と話をして過ごす。	12ヶ月
2	NO4	運営推進会議の時、参加者の方の意見が少ない 家族の参加が固定している。色々な家族の参加が できる様な工夫が足りない。	<ul style="list-style-type: none"> 会議事にテーマを決めて行っているがホームの取り組みへの理解と参加者との意見交換が できる様にする。 全員の家族に会議への参加を依頼する。 	会議の時間配分を工夫して、意見交換の時間を多く取る。今まではホームからの説明が長かった。会議の開催日が年間予定で決まっているので全員の家族に予定日を知らせ、都合の良い日を調整していく。	12ヶ月
3	NO35	避難訓練に地域の方参加が無い。ホームからの 積極的な働きかけが少なく、協力体制が取れていない。	ホームに隣接するお宅に訓練の様子などを伝える。災害時の協力依頼を行う。	ホーム入口のお宅は水害時の緊急避難場所をお願いしていくので、散歩などの時入居者様と一緒に挨拶や顔見知りになる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。